

児童虐待防止研修

SB0s	科目及び講義課題	講師名	時間数		
			集合	オンライン	遠隔
1. 国の児童虐待防止政策の動向について、その方向性、公衆衛生の役割を理解し説明できる。	1 児童虐待の現状と対策 2 児童虐待と公衆衛生看護活動 3 児童虐待と法的理解	こども家庭庁 外部講師 外部講師	* A 1.0 A 1.5 * A 1.5		A 1.0 A 0.7
2. 児童虐待による子どもへの影響、児童虐待に至った家族の特徴や背景、関連要因から、必要なアプローチを明確化できる。	1 虐待による子どもへの影響 2 子ども虐待に至る親の精神病理と精神保健的アプローチ 3 医学的診断の活用による児童虐待の理解	外部講師 外部講師 外部講師	A 2.0 A 2.0 * A 2.0		A 0.5 A 0.8
3. 多職種連携を意識し、公衆衛生分野に期待される児童虐待の発生予防、早期発見・早期対応、再発防止のための支援のあり方を説明できる。	1 地域を基盤とする虐待防止対策の推進 2 児童虐待防止における多様な機関・専門職の連携 3 児童相談所の保健師・児童福祉司の役割 4 (グループワーク) 保健師・児童福祉司・児童心理司による多職種・多機関連携 5 妊産婦との面談・コミュニケーション技法	院内講師/外部講師 外部講師 外部講師 主任・副主任 外部講師	A 2.0 * A 1.0 * B 1.5 * A 1.5 * B 3.0 B 1.5		B 0.5 B 0.5 B 0.5
4. その他	1 修了時評価(研修の振り返り～到達度の自己評価)	主任・副主任	E 0.5		
時間数	*は、「児童相談所の連携機能強化に向けた中堅職員研修」と合同		小計 21.0		4.5
	集合	A 14.5 B 6.0 C D E 0.5	21.0	合計	25.5
	オンライン	A B C D E			
	遠隔	A 3.0 B 1.5 C D E	4.5		

Aは講義、Bは演習、Cは実験、Dは見学、Eはその他、修了時評価等(オリエンテーション、開講式・閉講式は除く。)

遠隔は、遠隔システムを利用し、予習・復習を行うもの(事前課題は除く。)